

HIS 秋の旅行予約動向

一 国内旅行に加え、入国条件撤廃のヨーロッパなど長距離路線が人気 一

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都港区 以下、HIS）は、2022年9月～11月の秋の予約状況から、旅行動向について下記の通りまとめました。

調査日：2022年8月1日（前年同日比）

調査対象：HISにて対象出発日（2022年9月1日～11月30日）の旅行をお申込みの方

対象商品：パッケージツアー、ダイナミックパッケージ、国際線航空券

HIS 秋の海外旅行 予約者数ランキング

順位	旅行先	前年比	入国条件 ※査証、電子渡航認証等のぞく
1位	ホノルル	1,205.2%	ワクチン接種証明書、宣誓書
2位	バンコク	2,643.8%	ワクチン接種証明書
3位	ソウル	3,444.7%	PCR陰性証明書、入国後PCR検査、検疫情報事前入力システム登録
4位	パリ	2,947.6%	なし
5位	シンガポール	6,463.6%	ワクチン接種証明書、医療申告電子フォーム登録、接触確認アプリ登録
6位	ロンドン	3,247.6%	なし
7位	グアム	1,418.8%	ワクチン接種証明書
8位	ミラノ	7,875.0%	なし
9位	ローマ	4,870.0%	なし
10位	オーランド	9,440.0%	ワクチン接種証明書、宣誓書

※入国条件は2022年8月10日現在のもの。最新の情報は必ず各国の大使館サイトにてご確認ください。

ヨーロッパを中心に、入国条件をコロナ以前と同様に戻す国が増えております。一方で、東南アジアや北米の多くはワクチン接種証明書の提出が必要となっております。なお、日本へ帰国（入国）する際は、72時間以内のPCR検査または抗原定量検査による陰性証明と入国者健康居所確認アプリの登録、隔離免除のためのワクチン接種（ブースター接種含む）証明書が必要です。一部、検疫所の宿泊施設で待機対象となっている指定国・地域からの帰国については、引き続き待機が求められております。また、1日の入国数は引き続き2万人までと規制が続いております。

昨年は10月より緊急事態宣言が解除されましたが、依然海外渡航制限が続いている環境でした。今年は入国条件の緩和に伴い、HISでは、現在までハワイをはじめとする38の国と地域の海外ツアーを再開しており、海外旅行全体では前年比1,474.5%と大きく上回りましたが、コロナ以前の2019年比では15%程度と本格的な回復の軌道に乗ったといえる状況には至っておりません。海外旅行全体の平均単価は216,800円で前年比130.5%、コロナ以前の2019年比では190.3%となっております。燃油サーチャージの高騰や、単価の高い長距離路線が好調なことが平均単価を押し上げている要因とみられます。

1位はハワイが大きく牽引しており、全体の3割を占めております。レジャー目的のみならず、コロナ禍で数年延期されていた記念旅行をようやく実現されるハネムナーや、海外拳式または参列者のご予約も増加しております。ヨーロッパから各都市がランクインしており、今夏は猛暑であったヨーロッパですが秋以降は涼しくなり観光しやすいシーズンになります。10位にはアメリカフロリダ州のオーランドがランクインしております。ご予約の多くがウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート目的のお客様で、50周年セレブレーション中ということもあり、様々な記念のイベントやイルミネーションなどを楽しむことができます。ランキング外ではありますが、ドーハが顕著に伸びており、11月に開催されるサッカーW杯への需要もみられました。

増便や大型機材の投入、地方空港発着便の再開など、徐々に国際線の座席供給量が増加しておりますが、入国条件の緩和が行われているバンコク、ソウルなどが上位にランキングされている一方で、台北やバリ島、香港などは大きくランキングを下げており、観光目的の入国禁止や隔離措置など入国条件の厳しさや、直行便の運休などが影響していると考えられます。

HIS 秋の国内旅行 予約者数ランキング

順位	旅行先	前年比	順位	旅行先	前年比
1位	沖縄県	237.2%	6位	福岡県	208.0%
2位	北海道	265.1%	7位	鹿児島県	124.9%
3位	大阪府	682.5%	8位	広島県	172.9%
4位	長崎県	228.7%	9位	石川県	189.4%
5位	東京都	335.4%	10位	青森県	170.5%

昨年は緊急事態宣言が解除された10月以降、県民割などが実施されマイクロツーリズムの需要がございましたが、今年にはコロナ以前同様、遠方へのご旅行が復活しております。国内旅行全体では前年比243.3%。平均単価は前年比101.8%の57,400円で、ほぼ横ばいとなっております。

1位は沖縄県で、温暖な気候のため10月中旬まで海水浴を楽しむことができ、マリンスポーツを満喫できます。夏に比べ気温は下がり屋外観光もしやすいシーズンになります。2位は北海道で、地域別では札幌に続いて旭川、函館、トマムが人気となっております。北海道の名産、国産秋鮭の脂がのった身とイクラは、秋の味覚の代表格です。3位は大阪府で、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを目的とされたお客様が多くみられました。コンサートやスポーツ、大規模展示会などリアル参加ができるイベントが再開しており、往来が活性化しております。

HIS 出発日ランキング

順位	海外旅行 出発日	国内旅行 出発日
1位	9月17日(土)	9月4日(日)
2位	9月16日(金)	9月5日(月)
3位	9月1日(木)	9月1日(木)
4位	9月4日(日)	9月2日(金)
5位	9月15日(木)	9月11日(日)

出発日ランキングとしては、海外旅行は敬老の日(9月19日)を含む連休や、週末を絡める出発日が人気です。10月・11月も同様に、祝日を絡めた出発日が先行して予約が動いております。国内旅行においては、実際のご予約が引き続き多く、比較的金額がお安くなる日曜や平日出発が人気となっております。

HIS コロナ禍の安心サポート

キャンセルサポート

想定外のご自身やご家族、同行者様の病気やケガによる入院・通院、急な出張など海外旅行をキャンセルされる場合、プランに応じた内容でキャンセル料の70%を補償します。

海外旅行 <https://www.his-j.com/service/hoken/cancel/index.html>

国内旅行 <https://www.his-j.com/service/hoken/cancel/kokunai/index.html>

取消料 HIS が全額負担 (国内旅行)

2022年10月までの出発日でHISが主催する国内旅行に8月中に新規ご予約いただくと、当日出発前までに新型コロナウイルス感染による取消のお申し出があった場合、取消料をHISが負担します。

※後日、新型コロナウイルス罹患の証明をご提出いただいた後にご返金いたします。

※沖縄発着のツアー、鉄道ツアー、バスツアー、国内ホテル宿泊プラン、スタディツアーデスク、エコツアーデスク、ユニバーサルツーリズムデスクの商品は対象外です。

<https://www.his-j.com/campaign/shisaku/>

報道関係のお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス 広報室 TEL : 050-1746-4177

営業時間 : 平日10:00~17:00